

報道関係者 各位

令和8年7月6日

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

英国ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院（LSHTM）との
連携に係る覚書の締結について
— レギュラトリーサイエンス分野の人材育成を強化 —

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）は、英国ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院（The London School of Hygiene & Tropical Medicine：LSHTM）との間で、レギュラトリーサイエンス分野における連携を進めるための覚書（Memorandum of Understanding：MoU）を2026年7月6日に締結しました。

本MoUは、両機関がそれぞれの強みを活かしながら、教育・研究や人材育成等の分野で連携・協力を進め、レギュラトリーサイエンスの発展に貢献することを目的としています。

本連携は、PMDAの人材力強化に関する新たな連携の枠組みである「RSアライアンス協定（Alliance for Regulatory Science Advancement; ARSA）」の一環として実施されるものです。この枠組みでは、PMDAが国内外の大学や研究機関と協働し、実務に直結した高度な研修や共同活動を展開することで、次世代のレギュラトリーサイエンス人材の育成を推進していきます。

LSHTMは、疫学や公衆衛生分野において世界をリードする研究機関であり、感染症対策をはじめとする国際的な課題において重要な役割を果たしています。本連携では、同大学院のFaculty of Epidemiology and Population HealthとPMDA医薬品安全対策第一部薬剤疫学課が中心となって活動を進めることとしており、国境を越えた人材交流や共同活動を展開します。PMDA職員は、国際的に活躍する研究者との協働を通じて、既存の専門性を基盤としつつ、最先端の解析手法や研究知見を実践的に吸収し理解をさらに深化させることで、薬剤疫学領域における専門性のより一層の高度化を図り、国際的な研究環境における実務経験を蓄積していく予定です。さらに、得られた知見や経験をPMDA内の業務に展開することで、科学的根拠に基づく審査・安全対策のさらなる質の向上につなげ、人的ネットワークの構築を通じて組織としての国際的な連携基盤の強化にも寄与することが期待されます。

(参考) ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院 (LSHTM) について

ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院 (The London School of Hygiene & Tropical Medicine : LSHTM) は、公衆衛生分野において世界をリードする大学の一つです。約 3,500 人の職員と 4,700 人の学生が一体となり、より健康で持続可能かつ公平な社会の実現に向けて取り組んでいます。

ロンドン、ガンビア、ウガンダに主要拠点を有し、年間約 1 億 9,000 万ポンドの研究資金を背景に、質の高い研究、大学院教育、そして国際的なネットワークを通じて、人々の生活に確かな影響をもたらすことができる独自の立場にあります。

LSHTM の使命は、英国および世界全体における健康と健康の公平性を向上させることにあります。そのために、パートナーと連携しながら、公衆衛生およびグローバルヘルス分野における研究、教育、ならびに科学的知見を政策および実務へと結び付ける活動において、質の高い成果の創出に取り組んでいます。

詳細については、以下をご参照ください。

<https://www.lshtm.ac.uk/>

【お問合せ先】

(PMDA)

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 研究管理部

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

Tel : 03-3506-9573

E-mail: rs-cpa@pmda.go.jp

(LSHTM)

Email: press@lshtm.ac.uk

(付記)

本ニュースリリースは London School of Hygiene & Tropical Medicine (LSHTM) との協働による。